

Labo NEWS

Aichi Association of Medical Technologists Report

2020

6

JUNE

らぼニュース

CONTENTS

- 巻頭言 新型コロナウイルスと医療と臨床検査技師…………… 1
- 2020年度愛知県臨床検査精度管理調査…………… 2
- 地区だより…………… 3
- AiCCLS 愛知県臨床検査標準化協議会通信(第67回) …… 4

2020年4月22日現在 正会員数 3,395名

新型コロナウイルスと医療と臨床検査技師

公益社団法人愛知県臨床検査技師会
学術部門担当副会長 岡田 元

この原稿を書いている4月時点では新型コロナウイルス感染症の勢いは衰えず、「緊急非常事態宣言」が続いています。この事態に我々臨床検査技師はどのように貢献したら良いのでしょうか。日常診療の中で臨床検査技師が行うことができる検体採取と臨床検査は、大切な業務ではありますが、無くても診断、治療ができるケースも沢山存在します。しかし他人に感染させる可能性のある新型コロナウイルスの検査は大きな意味を持っています。症状もない多くの健康な人達が検査を受けたいと願うのは、自分が保菌者だった場合、家族や他人を感染させてしまう可能性があるためです。また病院には新型コロナウイルス感染症になると重篤化する可能性の高い患者が大勢いますので、陽性患者と陰性患者を区別する必要があります。検体採取とPCR検査に最も近い我々が他人事のように眺めているわけにはいきません。

今回は検体採取とPCR検査がボトルネックである事は周知の事実になっています。それを解消するために国や自治体行政、医師会、病院協会が強い使命感をもって体制作りをしています。そこに協力したい気持ちがあっても現実的に日常業務で検体採取やPCR検査の実績は不十分であると思います。しかし我々は適正な検体採取の重要性を十分理解していますので、自施設でレクチャーを受けスキルを得ることで貢献することができます。PCR検査は検査機器を所有している施設も少なく、携わっている技師は一部になりますが、検査件数拡大に向けて研修する体制もできつつあります。どちらの業務も求められた時のために自分たちで準備することができます。

今回の新型コロナウイルス感染症は各医療機関の対応の他に地域(行政)の対応が必須になっています。そこには参画する意志がないと貢献することはできません。「臨床検査技師さん検体採取に出向して下さい」と要請されたときに「やったことが無いので行けません」と応えるか、「準備はできています」と応えるかは皆様次第です。

何年か経って「新型コロナウイルス感染症の時には頑張って国民を救ったんだ」と言えるように積極的に取り組んで頂きたいと思います。



ご案内

2020年度 愛知県臨床検査精度管理調査

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の感染拡大に伴う情勢変化により、日程や調査項目が急遽変更となる可能性があります。**本案内では実施日程のみお知らせします。**

本年度の愛知県臨床検査精度管理調査の募集要綱はホームページに最新情報含め掲示させていただきます。なお、申込み後の内容変更については、JAMTQC に登録されたメールアドレス宛に都度配信いたしますのでご確認ください。(http://www.aichi-amt.or.jp)

【趣 旨】

愛知県臨床検査精度管理調査(以下：本サーベイ)は、愛知県下における臨床検査施設の施設間差是正を目的とし、精度管理調査から各施設の改善までをその事業の範疇とします。本サーベイの達成により、臨床へ高品質な検査結果の供給を果たし、愛知県民の健康に寄与します。下記の記載事項にご留意のうえ、ご参加くださるようお願いいたします。なお、本サーベイへは、愛知県臨床検査技師会の非会員施設からもご参加いただけます。

【申込み期間】

2020年6月15日(月)午前9時 Web 申込み開始(予定)

2020年7月15日(水)午後6時 Web 申込み締切(予定)

※試料の用意数に達した場合は、締切期日を待たずに申込み受付を終了します。

※申込み期間終了後の内容の変更やキャンセルは一切お受けできませんのでご了承ください。

【調査試料到着日】

2020年8月24日(月)冷蔵宅配便で到着(予定)

【結果入力画面閉鎖日】

2020年9月4日(金) 午後11時 Web 回答画面閉鎖(予定)

※結果入力画面閉鎖間際の時間帯はアクセスが集中します。早めの入力をお願いします。

※結果入力画面閉鎖後の入力内容の変更、削除、新規入力等は一切お受けできません。

【問い合わせ先】

公益社団法人 愛知県臨床検査技師会 精度管理事業部 部長 菊地良介

TEL：052-744-2588 名古屋大学医学部附属病院 医療技術部臨床検査部門

今回の地区だよりは「西三河地区」ということで藤田医科大学病院が担当します。藤田医科大学病院は豊明市と名古屋市緑区をまたぐように存在しています。藤田学園の正門は緑区にありながら、住所は豊明市。ちょっと変わっていますね。

さて、「豊明市」と聞いてどんな印象を持ちますか？私は18歳で藤田保健衛生大学に入学し、現在まで12年間通学・通勤しているのですが、「豊橋市＝豊橋カレーうどん」や「半田市＝ミツカン」と言うような、豊明市に結びつくキーワードは思いつきません。そこで、今回改めて豊明市について調べてみました。

豊明市は、愛知県の中央やや西寄りに位置しており、名古屋市南部に隣接しています。名古屋市近郊でありながら、緑豊かな自然環境と古い歴史を持ち合わせた住宅都市であり、市内には一度は耳にしたことがある、桶狭間の戦いが行われた「桶狭間古戦場伝説地」、市内を一望できる名勝地「二村山」、中央競馬(JRA)が観戦できる「中京競馬場」があります。

二村山は当院から徒歩圏内にあるものの、行ったことも登ったこともありませんでした。物は試しに…と言うことで登ってみました。

駐車場から徒歩で5分もかからないうちに展望台に到着しました。3階建ての展望台を登ると、やや鬱蒼と茂った木々が視界に入りますが、360度見晴らしのいい風景が広がっていました。夜景も綺麗に見えそうですが、Yahooで二村山を検索すると「二村山 心霊」という検索ワードが出てきます。興味のある方はぜひ訪れてみてください。

また、豊明市にも世界に誇れるものがありました。それは「愛知豊明花き地方卸売市場」です。花きとは、花の咲く草、観賞用に栽培する植物という意味です。この市場、特筆すべきはその取扱い高。日本国内はもとより、アジアで最大、世界でも第5位の花き卸売市場です。予約は必要なのですが、なんと一般客も市場見学ができます。しかも、おひとり様から可能とのこと。すごいですね。草木にさほど興味のない私ですが、アジア最大の卸売市場と聞くとやや興味が湧きました。

「豊明市」と聞いてどんな印象を持ちますか？「歴史のまち」、「競馬のまち」、「心霊スポットのあるまち」、「花のまち」、「やはり何もないまち」。ぜひお越しください！とは言いませんが、近くに訪れた際には思い出していただけると嬉しいですね。



愛知県臨床検査標準化協議会(Aichi Committee for Clinical Laboratory Standardization: AiCCLS)は、愛知県下の医療施設への臨床検査標準化の啓発活動を軸とした質の高い検査結果の共有維持を目的として、活動しています。

今回は、新しく発刊された刊行物、細胞診アトラス 呼吸器シリーズから(15)と(16)についてご紹介いたします。

これから細胞診を学ぶ若者から経験を積んだベテランまで幅広く活用できるように編集し、細胞画像を多数取り入れ、とても見やすくまとめられていますので、是非ご活用ください。

詳しい内容、購入方法については、愛知県臨床衛生検査技師会HPの、臨床検査標準化情報でご覧ください。
(AiCCLS:愛知県臨床検査標準化協議会)

軽度異型扁平上皮細胞

AiCCLS 愛知県臨床検査標準化協議会
細胞診アトラス「呼吸器シリーズ」(15)

患者年齢: 60 歳代 性別: 男性 検体種類: 気管内採痰

臨床所見: 血痰

【判定】 陰性

【細胞所見】

エオジンやオレンジ G あるいはライトグリーンに淡染する細胞がシート状の小集塊あるいは孤立散在性に出現している。核は類円形で軽度腫大し、微細なクロマチンがほぼ均等に分布している。

【細胞診断のポイント】

平面な小集塊形成・散在状配列・孤立散在性に出現する。結合性のやや緩い細胞集塊内に多辺形(多角形)細胞と類円形細胞が混在して認められる。細胞質はほとんどがエオジン・オレンジ G に淡染する。核は類円形で、軽度の大小不同、クロマチンは均等に分布し、軽度の増量がみられる。N/C 比は低い。多核細胞はほとんど認められないが、2 核細胞が稀にみられる¹⁾。

【定義・概念】

扁平上皮癌を疑う所見はなく、臨床的にも病的意義はないと考えられる異型扁平上皮細胞(群)である。肺がん検診における喀痰細胞診の判定区分は B に相当する¹⁾。

判定区分	細胞所見	処置区分
A	喀痰中に細胞塊を認めない	材料不潔、再検査
B	正常上皮細胞のみ 基底細胞増生 軽度異型扁平上皮細胞 鱗毛円柱上皮細胞	現在異常を認めない 次回定期検査
C	中等度異型扁平上皮細胞 核の増大や濃染を伴った円柱上皮細胞	再塗抹または6か月以内の再検査
D	高度(後昇)異型扁平上皮細胞または 悪性腫瘍が疑われる細胞を認める	直ちに精密検査
E	悪性腫瘍細胞を認める	

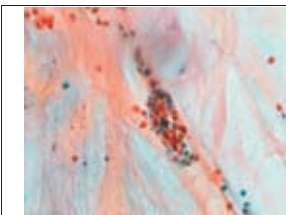


写真1: Pap, 染色 ×40

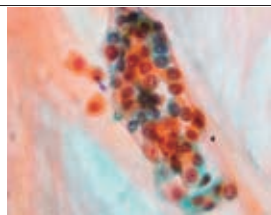


写真2: Pap, 染色 ×100

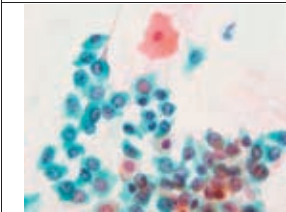


写真3: Pap, 染色 ×100

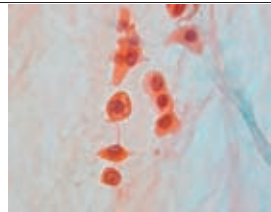


写真4: Pap, 染色 ×100

Aichi Committee for Clinical Laboratory Standardization

高度異型扁平上皮細胞

AiCCLS 愛知県臨床検査標準化協議会
細胞診アトラス「呼吸器シリーズ」(16)

患者年齢: 60 歳代 性別: 男性 検体種類: 経気管吸引痰

臨床所見: 肺炎疑い

【細胞判定】 疑陽性

【細胞所見】

エオジンやオレンジ G あるいはライトグリーンに濃染し、細胞質に厚みのある細胞が孤立散在性に出現している。N/C 比が高く、核形不整、クロマチンはやや粗く不均等に分布している。

【細胞診断のポイント】

結合性のごく緩い不規則配列の細胞集塊あるいは孤立散在性に出現するが、孤立細胞の出現頻度が増す。細胞形は類円形あるいは不整形で、大小不同と多形性を示す。細胞質は厚層感があり、ときに橙黄色の光輝性を呈する。N/C 比は高くなり、核形不整や核の大小不同を認める。クロマチンは細～粗顆粒状で不均等に分布し、中等度の増量がみられる。細胞封入像や多核細胞が出現することがある¹⁾。

【定義・概念】

扁平上皮癌を疑うが、非癌性の病変である可能性も考えられ、必ずしも断定しえない所見を呈する異型扁平上皮細胞(群)である。肺がん検診における喀痰細胞診の判定区分は D に相当する。気管支鏡を含めた精密検査は必ず行われるべきである。このような所見から癌が発見される場合は早期癌が多い¹⁾。

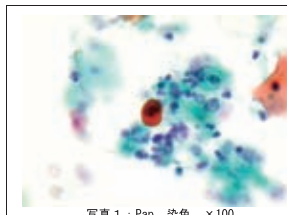


写真1: Pap, 染色 ×100

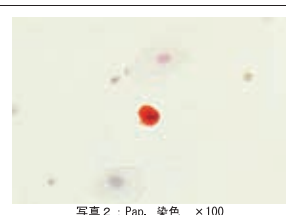


写真2: Pap, 染色 ×100

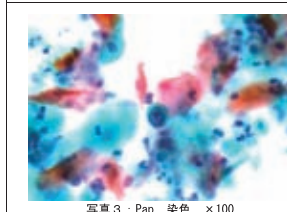


写真3: Pap, 染色 ×100

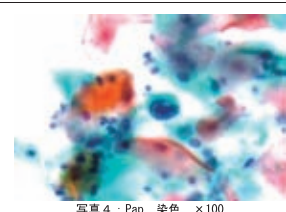


写真4: Pap, 染色 ×100

Aichi Committee for Clinical Laboratory Standardization

令和2年春の叙勲 当会の森田 秀夫氏が「瑞宝双光章」を受章されました。

長年にわたり当会の理事を歴任し、組織強化、会計管理を担当し、当会の運営に多大なる功績を残され、臨床検査の職能を通じ、広く県民の健康増進及び公衆衛生の向上に寄与されました。謹んでお祝い申し上げます。